

氏名	藤田 宗和 FUJITA Munekazu
所属	人間文化創成科学研究科人間科学系
職名	教授
学位	修士
専門分野	臨床心理学
URL	
E-mail	fujita.munekazu@ocha.ac.jp

研究者キーワード / Keywords

臨床心理学
犯罪・非行臨床心理学
心理査定
投映法
TAT

criminals, juvenile delinquents
clinical psychology
psychological assessment
projective test
thematic apperception test

主要業績

藤田宗和・田中奈緒子・田中裕人 (2010) 「少年院における教育の実態に関する実証的研究(2)―教育職員の少年観と教育観―」 犯罪心理学研究 第48巻 特別号, p90-91

藤田宗和・近藤希・児玉梨沙(2010) 「TATの物語産出時の思考プロセスの検討―5」日本ロールシャッハ学会第14回大会抄録集p38

藤田宗和・木村あやの(2010) 「視線運動から見たTAT 物語の産出プロセスの検討」 日本心理学会第74回大会 発表論文集

研究内容 / Research Pursuits

- (1) 「非行少年の処遇」；少年院在院の非行少年の価値観，および教育職員の教育観等を調査し，より良い処遇あり方を検討する．
- (2) 「TAT (thematic apperception test) の物語産出過程の研究」；投映法であるTATの物語産出の基礎にある認知的プロセスを検討し、信頼性、妥当性のあるテストとして、臨床的により有効なテストとする。

■ 教育内容 / Educational Pursuits

(1) 学部では臨床心理学における心理査定の意味、および各種心理検査の有効な使用方法について教授する。(2) 大学院においては、臨床的な視点からの犯罪・非行の理解、および投映法心理検査の意味、使用方法について教授する。

■ 研究計画

T A T (絵画統覚法) の認知的なプロセスを実験的に解明することで、T A T を信頼性、妥当性のあるテストとし、臨床場面で使用するすること、T A T を用いて、発達障害等の特有の認知特徴とパーソナリティの全体的な特徴の関連を有機的に関係づける研究に応用できる。

■ メッセージ

犯罪・非行を含めて、臨床的な問題を抱える人々についての個別的理解を深める視点を重視した研究、ゼミ(犯罪者などの心理アセスメント、投映法)を行っています。個々人の問題を深く理解することを通して、広く現代日本人の生き方について洞察を深めることになると考えられます。